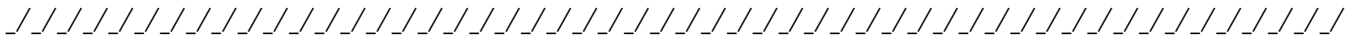


2006/10/2

《「産業保健おおいた」メルマガ版》

第 22 号

○ INDEX



* TOPICS

アスベスト(石綿)情報 第 6 回アスベスト問題に関する関係閣僚による会合資料

* 今月の Key Word 【生活習慣病】

* 労働衛生事例

- ・一酸化炭素による中毒
・有機溶剤による中毒

* 新着情報

…新着雑誌のご案内

* 研修・セミナーのご案内(10 月・11 月)

○ TOPICS

■第 6 回アスベスト問題に関する関係閣僚による会合資料 (平成 19 年 9 月 8 日)

http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/sekimen/kaigou/060908.html

(厚生労働省ホームページより)

○ 今月の Key Word【生活習慣病】

1 生活習慣病の相乗作用

生活習慣病のひとつである高血圧の人は、現在日本で 3,300 万人、高脂血症の人は、1,000 万人、糖尿病の人は 690 万人いるといわれています。しかし、これらの病気はかなり進行するまで症状が出ないため、自分が病気であることに気づかず、定期健康診断等で異常を指摘されてもなかなか病院に行かない人も多いのが現状です。サイレントキラー(もの言わぬ殺し屋)と呼ばれるゆえんです。

これらの生活習慣病は、互いが密接に関係しており、あわせて発病している人が多いことも特徴です。また、例えば高血圧だけをもっている場合に比べ、高血圧と高脂血症をあわせもっている人や、高血圧、高脂血症と糖尿病の 3 種類をあわせもっている人では、心筋梗塞や脳卒中の危険率が 4・5 倍、7 倍と相乗的に高まります。現在の日本では、心臓病、脳血管障害の死亡率は、悪性新生物(癌)に次いで高く、全死亡の 3 分の 1 近くを占めています。

2 生活習慣病と動脈硬化

生活習慣病は、動脈硬化とも密接なかかわりをもっています。動脈硬化とは、血管(動脈)の内側にコレステロールなどの脂肪が蓄積することで血管の内部が狭まり、血流が悪くなったり、血圧が高まることで血管の壁がもろくなった状態をさします。さらに、もろくなった血管には傷がでやすく、その修復のためにできた血液のかたまり(血栓)で血管が狭くなります。すると、そこから先には酸素が行きわたらなくなり(虚血)、臓器の細胞が死んでしまいます。心臓に起これば心筋梗塞、脳に起これば脳梗塞、足に起これば下肢壊疽と、その起こる場所によってさまざまな病気を引き起こします。

◆生活習慣が引き起こす病気

- ・偏った食事 ⇒高脂血症、糖尿病、高尿酸血症、脂肪肝など
- ・運動不足 ⇒高血圧、高脂血症、糖尿病
- ・アルコール ⇒脂肪肝など
- ・喫煙



動脈硬化



- 【脳】⇒脳梗塞、脳出血、血管性痴呆
- 【心臓】⇒狭心症、心筋梗塞、心不全
- 【腎臓】⇒腎不全
- 【血管】⇒解離性大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症

(独立行政法人 労働者健康福祉機構「働く人々の生活習慣予防ノート」より)

○ 労働衛生事例

労働衛生事例(2例—平成16年、平成17年—)

《例1》—酸化炭素による中毒(—平成16年—)

【業種(労働者数)】

輸送用機械等製造業(1426名)

【発生月】

10月

【被災者数】

中毒3名

【発生状況】

エンジン部品の鋳造を行う工場において、キュポラ溶解炉に付属する集じん機ファンを稼働させるための動力をモーターから伝達するベルトが切れたため、作業員が同設備のある小屋に入って

ベルト交換等の作業を行っていたところ、キュボラ溶解炉内で発生した一酸化炭素を含む排ガスが設備から漏出しばく露したことにより、3名が一酸化炭素中毒となったもの。

【発生原因等】

- ・一酸化炭素に関する教育未実施

《例 2》有機溶剤による中毒(—平成 17 年—)

- ・トルエンによる中毒

【業種】

建築工事業

【発生月】

10 月

【被災者数】

中毒 1 名

【発生状況】

建築工事現場の倉庫下の地下ポンプ室において、被災者がトルエンを含有する防水塗料を用いて床の防水塗装工事を行っていた際に、有機溶剤を吸入したもの。災害発生時において、被災者は呼吸用保護具を着用しておらず、当該作業には換気装置は設置されていなかった。

【発生原因等】

- ・換気不十分
- ・呼吸用保護具未着用

○ 新着情報

☆ 新着雑誌 & パンフレット ☆

■産業保健おおいた 2006 秋号 大分産業保健推進センターが発行しています

「産業保健おおいた」の最新号ができました。

センターでも配布しておりますので、是非ご覧ください！

○ 研修・セミナーのご案内(10 月・11 月)

★衛生管理者等研修

時間:14:00~16:00

会場:大分産業保健推進センター会議室

▽10 月 5 日(木)

呼吸用保護具を有効に活用するために ー着用している防じんマスクの検証ー

木村 菊二(特別相談員)

※ こちらの研修を受講される方は、日頃着用している防じんマスクを洗淨等はせずに「そのままの状態でご持参ください。

▽10月6日(金)

労働衛生管理体制から労働安全衛生マネジメントシステムへー化学物質等による労働者の健康障害を防止するために必要な措置に関する指針の活用ー 青野 裕士(基幹相談員)

▽10月31日(火)

職場のメンタルヘルス ー事例への対応ー 原尻 慎一郎(特別相談員)

▼11月17日(金)

石綿取り扱いの危険管理 田中 茂(外部講師)

▼11月28日(火)

自殺の危険への対応の実際 渡嘉敷 新典(特別相談員)

★産業医研修

▽10月4日(水)

石綿の健康への影響とその対策ー保護具の供覧と着用の実習木村 菊二(特別相談員)

時間:18:30~20:30

会場:大分県消費生活・男女共同プラザ「アイネス」2階 大会議室

<http://www.pref.oita.jp/13040/>(アイネス HP)

☆基礎/実地2 生涯/実地2

▽10月28日(土)

メタボリックシンドロームと歯周病 安東 俊介(特別相談員)

時間:14:00~16:00

会場:日田・玖珠地域産業保健センター(日田市医師会 HP) <http://www.hita-med.or.jp/>

☆基礎/後期2 生涯/専門2

▼11月6日(月)

労働安全衛生法の改正と過重労働による健康障害防止のためのプロセス 青木 一雄(基幹相談員)

時間:18:30~20:30

会場:大分産業保健推進センター

☆基礎/後期2 生涯/更新2

▼11月20日(月)

じん肺診断書の作成 森本 泰夫(特別相談員)・村上 昌宏(外部講師)

時間:18:30~20:30

会場:大分県消費生活・男女共同プラザ「アイネス」2階 大会議室

<http://www.pref.oita.jp/13040/>(アイネス HP)

☆基礎/実地2 生涯/実地2

★カウンセリング研修

時間:18:30~20:30

会場:大分県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」2階 大会議室

<http://www.pref.oita.jp/13040/>(アイネス HP)

▽10月10日(火)

積極的傾聴　ーグループワークー　佐用　槇子(基幹相談員)

▼11月14日(火)

事例検討　佐用　槇子(基幹相談員)・渡嘉敷　新典(特別相談員)

★産業看護職等研修

会場:産業保健推進センター会議室

時間:14:00～16:00

▽10月18日(水)

労働安全衛生マネジメントシステム内部監査の実践　田吹　好美(基幹相談員)

▽10月23日(月)

職場のメンタルヘルス　ーラインによるケアー　江崎　フサ子(基幹相談員)

★第7回産業保健フォーラム

会場:コンパルホール　1階文化ホール

<http://www2.city.oita.oita.jp/guide/shisetsu/conpal.html> (コンパルホール HP)

時間:13:00～16:30

11月2日(木)

生活習慣病の予防ー肥満と糖尿病ー

吉松　博信(大分大学医学部生体分子構造機能制御講座[内科学講座第1] 教授)

※他、パネルディスカッション等も予定しています

◎いずれの研修もホームページからお申し込みいただけます。

↓↓↓

http://www.oita-sanpo.jp/H18_training/top.htm



メールアドレスの変更、配信停止、ご意見・ご感想は、info@oita-sanpo.jp までお願いします。

皆様のご意見をお待ちいたしております。

..今月も最後までお読みいただきまして、ありがとうございました..



発行:独立行政法人 労働者健康福祉機構

大分産業保健推進センター

<http://www.oita-sanpo.jp/>

